

# 未適合炉における使用済燃料貯蔵槽に係る緊急時対策支援 システムへの伝送項目の追加対応について

2021年12月23日

中部電力株式会社

## 1. 概要

「緊急時対策支援システムへの伝送項目の追加について（依頼）（原規総発第1909255号）」に基づき、未適合炉における使用済燃料貯蔵槽に係る緊急時対策支援システム（以下、「ERSS」という。）への伝送項目の追加対応について、原子力規制庁情報システム室と詳細調整を行った。

今回、調整結果を踏まえた対応について、ご相談したい。

## 2. 調整結果

2021年5月20日の面談において、データポイントライブラリ予約枠を活用した伝送を行うことを説明し調整を進めてきた結果、現状のERSSにおける使用済燃料貯蔵槽に係る放射線量のプラントサマリ画面上のパラメータ標記及びポップアップ画面上のパラメータ標記・測定レンジは、新規制基準適合炉のパラメータ標記及び測定レンジを想定して作成されているため、今回、未適合炉の対応として伝送する既設パラメータ標記及び測定レンジと相違している。

そのため、パラメータ標記及び測定レンジの変更対応が必要となることを確認した。なお、新規制基準適合後は、新規制基準適合パラメータに変更して伝送を行う。

## 3. 今後の対応（ご相談事項）

プラントサマリ画面上のパラメータ標記については、原子力事業者防災業務計画とは異なる名称で表示となるものの、ポップアップ画面上のパラメータ標記・測定レンジは、原子力事業者防災業務計画と同名称となるように改修を行うこととしたい。